

総務経済委員会

公共交通の充実とDXの推進にむけて

視察報告

実施日 令和7年10月20日(月)～10月21日(火)

視察事項

●千葉県我孫子市

送迎バスの空席を活用した高齢者等の外出応援について

●福島県会津若松市

住民基本台帳と地理情報システムの連携による防災施策等の取り組みについて

参加者

豊泉正人 関根弘樹 田中寿夫 船川秀子 衣川千代子 菅野淳 千葉良秋 笹本英輔
※田中委員は、会津若松市のみ参加

●千葉県我孫子市

送迎バスの空席を活用した高齢者等の外出応援について

◆事業概要

市内の自動車教習所や病院などで運行されている送迎バスの空席を活用し、高齢者や障がい者が買い物や通院などの外出を気軽にできるよう支援する事業です。移動範囲は我孫子市内となりますが、運賃は全ルートとも無料です。

◆協力事業者へのアプローチ

当初、事業者からは「利用者が増えるとバスが遅れる」「患者からのクレームが心配」といった懸念がありましたが、「本事業におけるトラブルは市が全て責任を負う」という市の約束により、協力が大きく進みました。

運行開始後、住民からの評判が良いことが広まるにつれ、当初は見送っていた事業者や法人の中からも協力に踏み切るところが増えました。

◆所感

本市においても病院や工場の送迎バスを市民が利用できる施策が実現すれば、医療アクセスの均衡化や就労機会の拡大、地域交通の多様化と環境負荷の低減など、複合的な効果が期待されます。

●福島県会津若松市

住民基本台帳と地理情報システムの連携による防災施策等の取り組みについて



我孫子市にて説明を受けるようす

◆デジタル地図を利用した取り組みの全体概要について

約11万人の全住民の住民基本台帳の情報(氏名・生年月日・性別・住所)を地理情報システム上にポイントとしてプロットした「住民ポイント」を整備し、さらに各課のシステムにあるデータを統合し、各種施策等に活用しています。

◆災害対応分野での利用

要援護者支援体制の可視化のために、介護保険、障害者手帳等のサブシステムにある情報を「住民ポイント」に結合し、民生・児童委員の担当エリアごとに要援護者分布を把握できるようにしています。

◆路線バス再編・公共交通網計画

バス停利用実地調査データと「住民ポイント」を統合して地域公共交通再編の取り組みに利用しています。

◆所感

データの「見える化」によって議論が活性化し、住民の行動変容を促すことの重要性に強く共感しました。



会津若松市議会議場にて